

新型コロナウイルス感染症の状況により、今後、入学者選抜期日及び方法が変更される場合がありますので、本学ウェブサイト「大学院入試に関するお知らせ」のページを随時ご確認ください。変更がある場合は入学選抜期日の1週間前までには掲載します。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/information/index.html>



令和5年度(2023年度) 名古屋市立大学大学院人間文化研究科

外国人研究生(10月入学生) 募集要項

1 募集人員

若干名

2 出願資格

外国人であって、次の(1)及び(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 令和5年8月末日までに、日本の大学を卒業した者又は入学時までに卒業見込みの者
- ② 令和5年8月末日までに、外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は修了見込みの者
- ③ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5年9月末日までに授与見込みの者

(2) 次のいずれかに該当する者

- ① 日本学生支援機構主催による日本留学試験(EJU)の日本語で280点以上のスコア(記述、読解、聴解・聴読解の合計)を有している者
(ただし、2020年度2回目から2022年度2回目の試験に限る。)
- ② 国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験(JLPT)のN1に合格している者
(ただし、2020年第2回から2022年第2回の試験に限る。)

3 出願期間及び方法

出願期間 令和5年5月8日(月)～5月19日(金) [必着]

- ・出願書類は、EMS(国際スピード便)や書留速達等の配達記録が確認できる形式で郵送してください。期限までに到着しなかった場合は、受理しません。(期限内消印有効ではないので注意してください。)
- ・日本国内から出願書類を送付の際は、必要事項を記入した本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を角型2号の封筒(ご自身でご用意ください)に貼り付け、書留速達で郵送ください。
本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を使用しない場合は、封筒の表面左下部分に「人間文化研究科外国人研究生出願書類在中」と朱書きしてください。

◎出願書類郵送先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
名古屋市立大学 学生課入試係 大学院人間文化研究科入試担当

◎出願に関する照会先

名古屋市立大学 大学院人間文化研究科入試担当

E-mail shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

(日本語による電子メールのみでの対応になります)

4 出願書類等 注1

	書 類 等	摘 要
①	入 学 願 書	<p>[本学所定の書式に記入。本学ウェブサイトに掲載した様式をダウンロードして使用することも可。]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語で記載してください。ただし、氏名は漢字又は英文字により記載し、フリガナ欄にカタカナ表記してください。 写真は、正面、上半身、無帽、カラー、背景なし、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。 学歴は、初等教育（小学校相当）から入学、卒業（終了）ごとに記入し、大学等での研究生等、日本語学校又は専修学校等での在学歴があれば、記入してください。 記入欄が足りない場合は、入学願書をコピーして使用する（氏名欄記入すること）もしくは別に添付（様式自由）すること。
②	卒 業 証 明 書 （卒業見込証明書） 注）2, 3	<ul style="list-style-type: none"> 在籍又は出身の高等教育機関（大学相当）の長が作成したもの。コピーは不可。 大学院修了（見込）者は、その修了（見込）証明書も提出してください。コピーは不可。 原本の提出ができない理由がある場合は、事前に必ず相談してください。 出願資格の(1)③により出願する者は、卒業証明書に代えて資格を証明する書類を提出してください。 日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。（原本のコピーに書き込んでも構いませんが、原本に直接書き込まないでください。）
③	成 績 証 明 書 注）2	<ul style="list-style-type: none"> 在籍又は出身の高等教育機関（大学相当）の長が作成したもの。コピーは不可。 大学院修了（見込）者は、その成績証明書も提出してください。コピーは不可。 原本の提出ができない理由がある場合は、事前に必ず相談してください。 日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。（原本のコピーに書き込んでも構いませんが、原本に直接書き込まないでください。）
④	卒業論文の要約等 これまでの研究概要	4000字以内の日本語で作成してください。 （書式は自由ですが、必ず志願者氏名を記載してください。）
⑤	研 究 計 画 書	1200字程度の日本語で作成してください。 （書式は自由ですが、必ず志願者氏名を記載してください。）
⑥	日本語能力を示す証明書 （日本留学試験の日本語または国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験の証明書）	<ul style="list-style-type: none"> 日本学生支援機構主催による日本留学試験（EJU）の日本語で280点以上のスコアを取得した時の受験票または成績通知書のどちらかのコピーを提出してください。 2020年度2回目から2022年度2回目の試験に限ります。 入学手続き時に受験票または成績通知書の原本を持参してください。 <p>国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験（JLPT）のN1合格を証明する書類。なお、提出方法については、上記試験実施機関から直接本学入試係へ令和5年5月19日（金）までに届くように郵送してもらおう手続きをとって提出してください。2020年第2回から2022年第2回の試験に限ります。（送付先：募集要項1ページ 出願書類郵送先）</p>
⑦	公的機関発行の証明書	公的機関が発行した国籍又は市民権が明記されたパスポート、在留カード、運転免許証等で、必ず本人の写真、氏名及び生年月日が記載された書類。コピー可。

⑧	希望指導教員との 連絡状況申告表 注) 4	〔本学所定の書式に記入。本学ウェブサイトに掲載した様式をダウンロードして使用することも可。〕 日本語で作成してください。
⑨	入学検定料の納付証明書 (銀行で発行された 受領書(外国送金証 明書)のコピー)	<p>【日本国内から検定料を納入する場合】 出願者氏名により別添振込依頼書を使用し振り込んでください。 その際は、銀行などから受け取った「検定料納付証明書(B票)」を他の出願書類と一緒に提出してください。(「振込金(兼手数料)受領書(A票)」は志願者が保管してください。</p> <p><振込方法> 支払方法：銀行振込 送金額：9,800円+手数料 ※ ※振込時に必要な手数料は、<u>すべて志願者が負担してください。</u></p> <p>【日本国外から検定料を納入する場合】 出願者氏名により電信送金で下記の口座へ送金してください。 また、銀行で発行された受領書(外国送金証明書)のコピーを他の出願書類とともに提出してください。</p> <p><振込方法> 送金種別：電信送金 支払方法：銀行振込 送金額：9,800円+手数料 ※</p> <p>※送金時に必要な手数料(振込銀行手数料〈海外銀行分〉と支払銀行手数料〈日本国内銀行分〉の両方。途中経由銀行の手数料がかかる場合もあり。)は、<u>すべて志願者が負担してください。不足していた場合は出願受理できません。(出願期間までに検定料全額を納めたことが本学で確認できない場合も含む。)</u> ※手数料は各自必ず金融機関等で確認した上で振込をすること。過不足が出ないように注意すること。検定料¥9,800を超える金額で振り込んだ場合、返金する際の手数料は受験者負担となることがあります。 ※必ず日本円で送金してください。日本円以外の外貨で送金した場合、出願を認めません。</p> <p><振込口座> 銀行名：三菱UFJ銀行(The Bank of Mitsubishi UFJ, Ltd.) 支店名：滝子支店(Takiko Branch) 口座番号：1232518 受取人：公立大学法人名古屋市立大学(Nagoya City University) 受取人住所：〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 (1 Kawasumi, Mizuho-cho, Mizuho-ku, Nagoya-shi, Aichi 467-8601 JAPAN) スウィフトコード：BOTKJPJT</p>
⑩	あて名用シール	〔本学所定用紙使用〕 返信先(本人)を明記してください。可否を通知するときに使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。 日本国外から出願する場合は、提出不要です。

注) 1 提出された出願書類は返却しません。

なお、卒業(見込み)証明書及び成績証明書で再発行できない場合は、コピーの提出を認めません。ただし、コピーで提出した場合は、入学手続きの際に卒業証明書及び成績証明書の原本を確認しますので、必ず原本を提出してください。確認後返却します。

注) 2 卒業証明書、成績証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名したことを証明できる公的機関発行の書類を合わせて提出してください。コピーは不可です。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。(原本のコピーに書き込んでも構いませんが、原本に直接書き込まないでください。)

注) 3 本学では二重学籍を禁止しています。出願時に他大学に所属している場合は、入学手続き時に卒業証明書もしくは退学証明書の提出を求めます。

注) 4 日本国内において連絡先がある場合は、必ず記載してください。

5 選抜方法

提出された書類による。(面接は行わない。)

6 入学許可者発表

すべての受験者に対して、本人宛にEMS(国際スピード郵便)またはレターパック等で6月27日(火)に発送します。(電話や電子メールでの合否の照会にはお答えできません。)

合格者には入学許可通知と合わせて、入学手続案内を送付します。

7 入学手続

(1) 手続期日(予定)

令和5年7月下旬

(2) 手続方法

入学手続き書類(入学料等の納付証明書など)を本学に送付してください。入学料等の納付が確認され次第、大学から「在留資格認定証明書」を入国管理局に請求し、約1ヶ月後に入学手続完了者へ送付します。

「在留資格認定証明書」と入学許可書、パスポートを日本大使館または領事館に提出することにより、留学ビザが交付されます。留学ビザのこれらの手続きは入学のため日本に渡航する前に終わらせてから日本に入国してください。

(3) 入学手続に必要な経費

ア 入学料(現行)	名古屋市住民等	69,600円
	その他の者	99,600円
イ 学生教育研究災害傷害保険料(現行)		1,000円

注1) 名古屋市住民等とは、①入学者又は②入学者の配偶者若しくは1親等の親族が入学の日において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注2) 入学料は入学手続時まで金融機関で納入してください。即納の納付金は、返還しません。

8 授業料

年額 356,400円(1・2期分 各 178,200円)

注1) 授業料は、入学後、年2回(前期・後期)に分けて引落を実施します。

注2) 必要な諸経費について別途徴収することがあります。

9 注意事項

- (1) 障害等により、修学上特別な配慮を希望する者は、願書提出締切日までに[大学院入試担当]まで電子メールで申し出てください。
- (2) 出願書類等が不備の場合は受理しません。(入学検定料や手数料の不足がある場合も不備として扱います)
- (3) 出願書類等は返還しません。
- (4) 原則として納入された入学検定料は、返金しません。
- (5) 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

- (6) 入学期日までに正規の入国手続を済ませることができない場合は、入学許可を取り消すことがあります。入国許可の詳細については、下記に照会してください。

名古屋出入国在留管理局

〒455-8601 名古屋市港区正保町5丁目18番地

[インフォメーションセンター] 0570-013904

(IP, PHS, 海外:03-5796-7112)

[留学・研修審査部門] 0570-052259

(所属部署番号:420#)

- (7) 出願書類に記載する本人の連絡先・住所、メールアドレス等は、必ず連絡が取れるものを記載してください。出願書類の不備等で連絡することがあります。また連絡が取れないことにより出願書類が揃わない場合は、出願不受理となりますので注意してください。

10 個人情報の取扱い

個人情報については、名古屋市個人情報保護条例に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 個人情報の利用

ア 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うために使用します。

イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を今後の入学者選抜の改善や学術研究の資料として利用する場合があります。（研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）

ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

大学院人間文化研究科 外国人研究生制度の概要

1 目 的

人間文化研究科の博士前期課程に入学するために必要な基礎学力と日本語能力を身につけたいと考える外国人を研究生として受け入れるものです。なお、研究生に在籍することが、本学大学院博士前期課程の合格を保証するものではありません。

2 在学期間

2024年3月までの半年間（ただし、1回に限り、1年間の延長が認められることがあります。）

3 カリキュラム

外国人研究生は、指導教員の指導の下、各学期において次に掲げる人文社会学部の授業科目を受講します。

- ・ 指導教員が担当する演習（「専門演習」等） 1科目
- ・ 専門教育科目（集中講義科目を除く。） 6科目以上
合計7科目以上

4 教員（指導教員を選ぶに当たって、参考にしてください。）

氏 名	職 名	専 門 分 野
天谷 祐子	准教授	発達心理学、教育心理学
安藤 究	教 授	家族社会学
アンドレア カスティリオーニ	講 師	日本思想史
市川 哲	准教授	観光学
伊藤 恭彦	教 授	政治学・規範理論研究
上田 敏丈	教 授	保育・幼児教育学
榎木 美樹	准教授	NPO/NGO論
岡村 優希	講 師	民法・労働法・EU法
梶浦 眞由美	准教授	英語教育学
加藤 弓枝	准教授	日本古典文学
川戸 貴史	教 授	中世史・日本経済史・中近世移行期
川本 徹	准教授	アメリカ文学・映画
菊地 夏野	准教授	ジェンダー/セクシュアリティ研究
久保田 健市	教 授	社会心理学
小林 直三	教 授	憲法・比較憲法
古賀 弘之	准教授	音楽教育学
佐藤 美弥	准教授	文化資源学・日本近現代史
椎名 渉子	准教授	言語学、日本語学、方言学
曾我 幸代	准教授	E S D
谷口 由希子	准教授	児童家庭福祉論
林 浩一郎	准教授	都市社会学
原田 信之	教 授	カリキュラム・授業開発
樋澤 吉彦	教 授	社会福祉援助技術研究
平田 雅己	准教授	現代アメリカの政治

馬渡 玲欧	講 師	環境社会学、社会学史、社会理論
三浦 哲司	准教授	現代地方自治研究
宮下 さおり	准教授	労働社会学
毛利 雅子	准教授	異文化コミュニケーション
山田 敦	教 授	日本植民地社会経済史
山田 美香	教 授	比較教育学・教育史
山本 明代	教 授	東欧及びアメリカの社会史・近代史
吉田 輝美	教 授	高齢者福祉
吉永 和加	教 授	近現代フランス哲学、他者論
米川 和雄	准教授	スクールソーシャルワーク論、社会福祉学、 精神保健福祉学、福祉心理学

注) 出願に際しては、事前に各教員の研究内容等を人間文化研究科のウェブサイト又は名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）でご確認の上、指導を希望する教員に連絡し、研究内容等についてご相談ください。

人間文化研究科のウェブサイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/academics/grad-human/index.html>

名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）

<https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/search/index.html>

※上記ウェブサイトに関連先が掲載されていない教員については、名古屋市立大学山の畑事務室教務係（TEL：052-872-5808）にお問い合わせください。

【敷地内全面禁煙について】

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。